

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査内容変更項目

- | | |
|------------------------------------|--|
| ●[2243] エストラジオール(E ₂) | ●[-]IVF-エストラジオール(E ₂) |
| ●[2410] DUPAN-2 | ●[2470] シアリル Le ^x 抗原(CSLEX) |
| ●[-] ループスアンチコアグラント[APTT 凝固時間法] | |
| ●[6857] ループスアンチコアグラント[リン脂質中和法] | |
| ●[4127] ループスアンチコアグラント[希釈ラッセル蛇毒時間法] | |
| ●[3508] 免疫電気泳動[特異抗血清による同定] | |
| ●[3509] 尿中免疫電気泳動[尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定] | |
| ●[1560] リゾチーム<血清> | ●[1561] リゾチーム<部分尿> |
| ●[1164] トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT) | |
| ●[2024] ゾニサミド | ●[1961] 蛋白分画<部分尿> |

※変更内容の詳細は次頁以降をご確認下さい。

■変更期日

- 2017 年 11 月 30 日(木)受付日分より

以上

■対象項目/変更内容

頁	項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧
54	2243	エストラジオール (E ₂)	検 査 方 法	ECLIA	CLIA
			基 準 値	本案内の 4 頁をご参照下さい	
			報 告 範 囲	5.0 未満、5.0～99990000	10 未満、10～99900000
54	-	IVF-エストラジオール(E ₂)	検 査 方 法	ECLIA	CLIA
			報 告 範 囲	5.0 未満、5.0～99990000	10 未満、10～99900000
59	2410	DUPAN-2	検 体 量	血清 0.4mL	血清 0.2mL
60	2470	シアリル Le ^x 抗原(CSLEX)	所 要 日 数	3～8 日	3～7 日
94 139	-	ループスアンチ コ ア グ ラ ン ト 〔APTT 凝固時間 法〕	備 考	<p>採血後、速やかに室温で 1500G 以上 15 分間遠心後、バフィーコートより 5mm 以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。</p> <p>※遠心器回転数の計算式 $G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r: 遠心器のローター半径 (cm) n: 1 分間あたりの回転数 (rpm)</p>	<p>3.2%クエン酸容器で採血し、転倒混和を 5～6 回繰り返した後、速やかに冷却遠心器を用い 1700G 以上 15 分間遠心後、上清の表面よりやや下の部分を 1mL 採取し、凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。</p> <p>※遠心器回転数の計算式 $G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r: 遠心器のローター半径 (cm) n: 1 分間あたりの回転数 (rpm)</p>
94 139	6857	ループスアンチ コアグラント〔リン 脂質中和法〕			
94 139	4127	ループスアンチ コアグラント〔希釈 ラッセル蛇毒時間法〕			
100	3508	免疫電気泳動 〔特異抗血清による同定〕	検 査 方 法	免疫固定法	免疫電気泳動法
100	3509	尿中免疫電気泳動 〔尿中ベンスジョ ーンス蛋白の同定〕	検 査 方 法	免疫固定法	免疫電気泳動法
			備 考	<p>特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。年齢、病歴を明記してください。</p> <p>使用する抗血清は IgG、IgA、IgM、κ、λ の 5 つになります</p>	<p>特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。年齢、病歴を明記してください。</p>
110	1560	リゾチーム 〈血清〉	検 体 量	血清 0.4mL	血清 0.5mL
			報 告 範 囲	0.1 未満、0.1～999999.9	0.0～999999.9

頁	項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧
110	1561	リゾチーム 〈部分尿〉	検 体 量	部分尿 0.4mL	部分尿 0.5mL
			基 準 値	0.1 未満 (μ g/mL)	0.0 (μ g/mL)
			報 告 範 囲	0.1 未満、0.1～999999.9	0.0～999999.9
138	1164	トロンビン・アン チトロンビンⅢ複 合体(TAT)	検 査 方 法	CLEIA	EIA
			報 告 範 囲	1.0 未満、1.0～119.0、 120.0 以上	1.0 以下、1.1～59.9、 60.0 以上
143	2024	ゾニサミド	検 査 方 法	ラテックス凝集法	HPLC
			材 料 ・ 検 体 量	血清 0.5 mL (血漿の削除)	血清 0.2 mL または 血漿 0.2mL
			報 告 範 囲	1.0 未満、1.0～999999.9	0.5 以下、0.6～999000.0
			所 要 日 数	3～6 日	4～7 日
-	1961	蛋白分画 〈部分尿〉	検 査 項 目 名	尿中蛋白分画	蛋白分画〈部分尿〉
			検 査 方 法	アガロースゲル 電気泳動法	キャピラリー電気泳動法

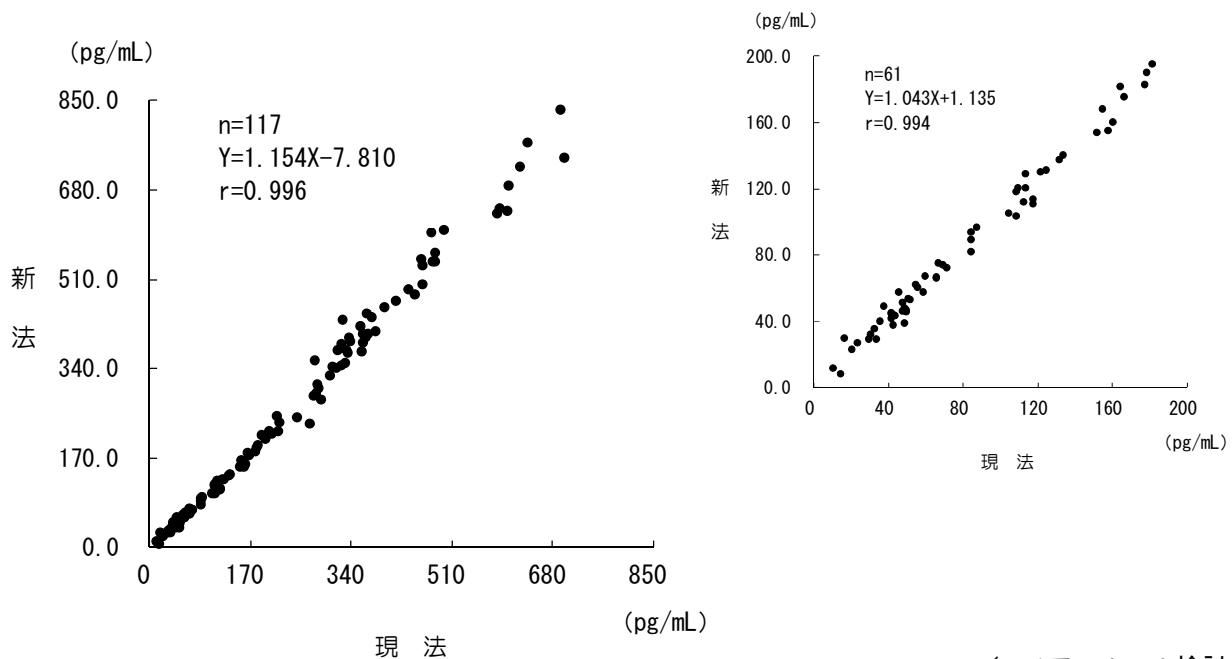
※その他の検査要項に変更はございません。

エストラジオール(E₂)、IVF-エストラジオール(E₂)

感度が高い試薬、検査方法へ変更いたします。

併せて、エストラジオール(E₂)の基準値を再設定させていただきます。(IVF-エストラジオール(E₂)は基準値を設定しておりませんので変更ありません。)

■新旧二法の相関



(エスアールエル検討データ)

■[2243]エストラジオール(E₂) 基準値 (単位: pg/mL)

変更後

非妊婦	女性	卵胞期	28.8～196.8
		排卵期	36.4～525.9
		黄体期	44.1～491.9
		閉経後	47.0 以下
	男 性		14.6～48.8
妊婦	妊娠初期		208.5～4289
	妊娠中期		2808～28700
	妊娠後期		9875～31800

←

変更前

非妊婦	女性	卵胞期	22～147
		排卵期	57～509
		黄体中期	56～321
		月経期	7～153
		閉経後	6～37
男 性		10～40	
妊婦	妊娠初期		1130～29200
	妊娠中期		1110～39700
	妊娠後期		1760～41600

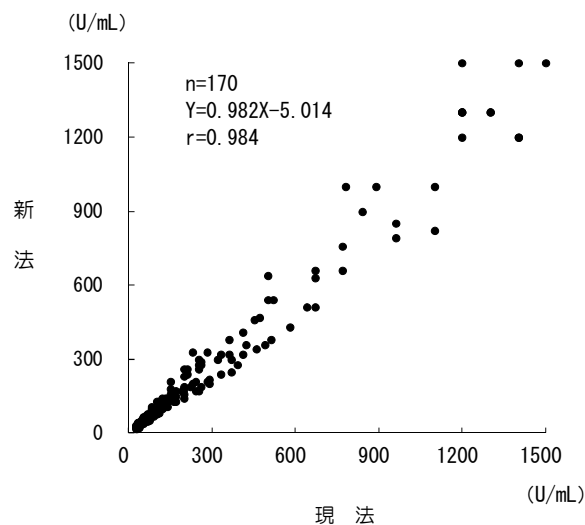
■検査方法および基準値参考文献

松崎 利也, 他:医学と薬学 72(5):931～941, 2015.

DUPAN-2

同一メーカーの改良新試薬へ変更いたします。(現試薬は販売中止となります。)これに伴い、検体量を変更いたします。

■新旧二法の相関



(エスアールエル検討データ)

ループスアンチコアグラント

検体取扱い方法におきまして、日本検査血液学会標準化委員会 凝固検査標準化ワーキンググループの「凝固検体取扱いに関するコンセンサス」に基づいた内容に変更いたします。

■検体取扱い方法

採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、バフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。

※遠心器回転数の計算式 $G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$

r: 遠心器のローター半径 (cm)

n: 1分間あたりの回転数 (rpm)

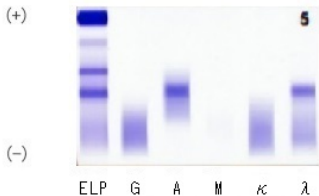
免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕 尿中免疫電気泳動〔尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定〕

本検査におきまして、微量なM蛋白や複数のM蛋白の検出に有用な免疫固定法に変更させていただきます。

■別紙報告書の見本

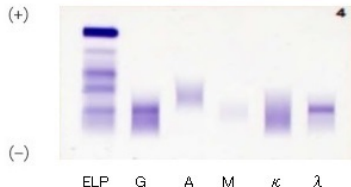
●免疫電気泳動

〔特異抗血清による同定〕

SRIL 免疫電気泳動検査報告書				0*1* * 0*1* 1*1-1*1*0-0*-9*9*9	
氏名 SRL タロウ		性別 F 年齢 50		カルテNo 1*4*0*6	
採取日 29年 5月 12日		材料 ケツエイ・ズ・イク		病院名 SRL ヒョウイン	
受付日 29年 6月 3日		受付No 3*3*8*		提出医 1007*ガ* 先生	
報告日 29年 6月 6日		検査No *N*W0*1*		科名 (外検・入院)	
		病棟 6F		その他No	
検査項目 特異抗血清による同定					
1. Pattern					
					
ELP 蛋白分画 G 抗IgG抗体 A 抗IgA抗体 M 抗IgM抗体 K 抗K抗体 λ 抗λ抗体					
2. Result					
・ IgA-λ 型M蛋白が認められました。					
SRIL 株式会社 エスアルエル & 八王子ラボ 東京都八王子市小宮町51番地					

●尿中免疫電気泳動

〔尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定〕

SRIL 検査報告書				0*1* * 0*1* 1*1-1*1*0-0*-9*9*9	
氏名 SRL タロウ		性別 F 年齢 50		カルテNo 1*4*0*6	
採取日 29年 5月 12日		材料 ケツエイ・ズ・イク		病院名 SRL ヒョウイン	
受付日 29年 6月 3日		受付No 3*3*8*		提出医 1007*ガ* 先生	
報告日 29年 6月 6日		検査No *N*W0*1*		科名 (外検・入院)	
		病棟 6F		その他No	
検査項目 尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定					
1. Pattern					
					
ELP 蛋白分画 G 抗IgG抗体 A 抗IgA抗体 M 抗IgM抗体 K 抗K抗体 λ 抗λ抗体					
2. Result					
・ Bence Jones Protein-λ 型M蛋白が認められました。					
SRIL 株式会社 エスアルエル & 八王子ラボ 東京都八王子市小宮町51番地					

リゾチーム

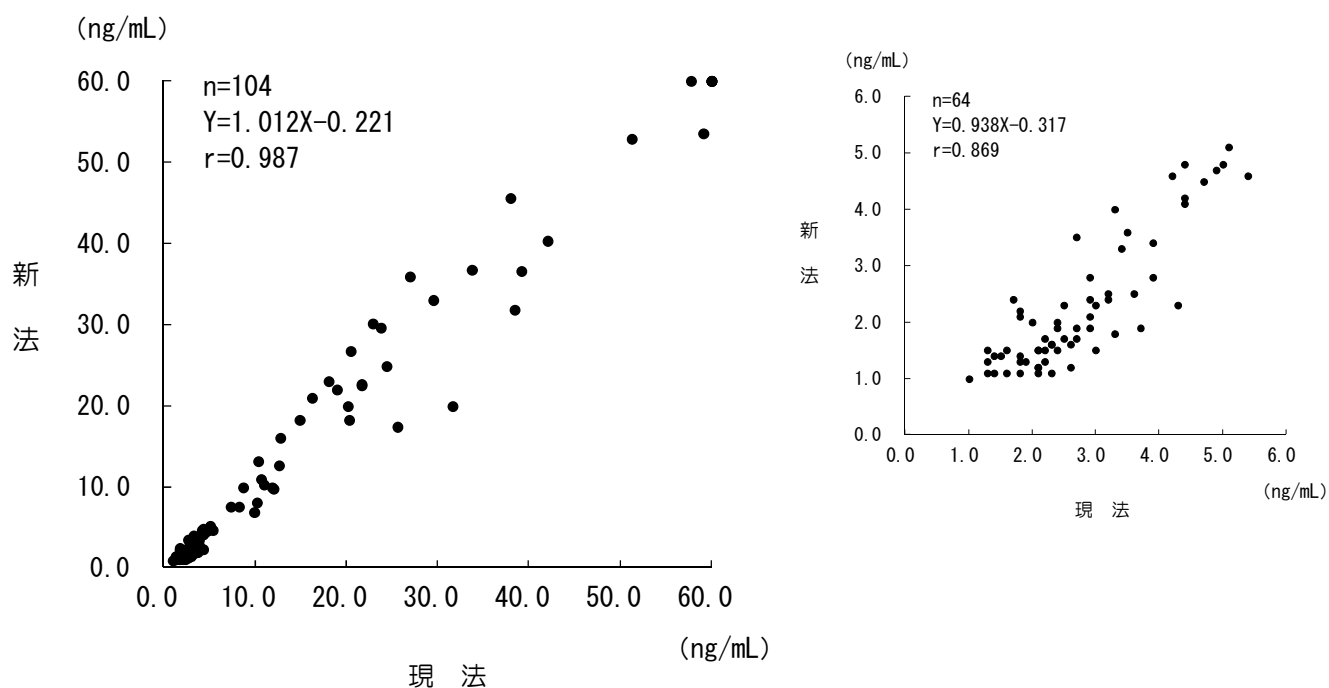
報告下限を見直し、基準値（部分尿）とともに再設定させていただきます。また、検体量を見直し、適正な量に再設定させていただきます。

尚、血清の基準値は従来通りで変更ありません。

トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)

高値域の測定範囲が広い試薬に変更いたします。

■新旧二法の相関



（エスアールエル検討データ）

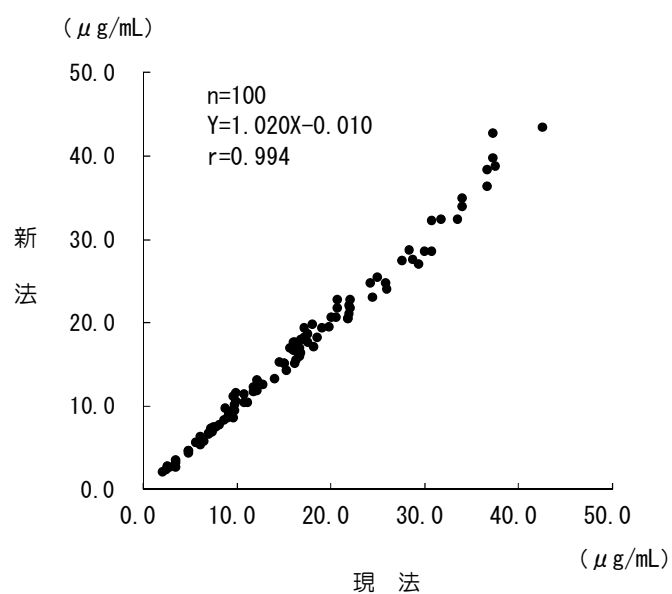
■検査方法参考文献

木村 真波 他: 医療と検査機器・試薬 33(4):525～533, 2010.

ゾニサミド

所要日数が短縮可能な自動化試薬に変更させていただきます。

■新旧二法の相関



(エスアールエル検討データ)

■検査方法参考文献

安田 真依,他:医療と検査機器・試薬 38(2):205~210,2015.